

ボくら本が大好き

図書室に新しい本が入ると
先を争って本を手にします
内川小学校の子どもたちは
みんな本が大好き！
読書っていろんな世界をのぞけて
おもしろいネ！



特集●郷土が生んだ女流作家

津世子が

愛する五城目

想い出の町と

美しい心

— 碑文 —

秋田は私の故里である。生まれたのは市から十里あまり離れた五城目という小さな町で、いまは一日市から軌道が通じているけれど、その頃は幌馬車とか箱馬車が何よりも贅沢な乗物とされていた。馬車の喇叭が耳に入ると子供の群はどよめきたって往還めがけて駆けてゆく。近づく馬車を私は毎日のように胸をどきどきさせては迎える。馬車の中に何かいいことが入っているような、そのような子供らしい期待からであった。

『想ひ出の町 五城目町』の一節



写真 左 五城館の文学記念室には津世子の遺品や当時の文学界で交友があった作家からの手紙などが展示されています

写真右上 文学記念室に展示されている肉筆原稿

写真右下 メインストリート・中央線の文学記念碑、町の真ん中でほっとする気持ちになれる空間です

昭和初期に文壇で活躍し、芥川賞候補になった作家・矢田津世子。五城館内の文学記念室や随筆『想ひ出の町 五城目町』の一節を刻んだ生家跡に建立された文学碑などを通して、私たちは折に触れて津世子の文学に接することができます。

しかし、矢田津世子と町とのかかわり、津世子が作品の中で描き続けた町の様子などを詳しく知る人はおそらく少ないのではないのでしょうか。

郷土の作家・矢田津世子の作品や文学資料にふれながら、その人柄や五城目への思いなどを探ってみましょう。あわせて、新しいまちづくりも一緒に考えてみたいと思います。

矢田津世子



自宅近くの坂を登る津世子

津世子が生まれたころ

胸に刻んだ記憶

津世子は、明治四十（一九〇三）年六月十九日に生まれまし
た。本名はツセといい、津世子
はペンネームです。

父の鉄三郎は秋田市の人です
が、当時の五城目町長の宮田源
蔵に見込まれ、明治三十一（一
八九八）年から町の助役を務め
ていました。鉄三郎が一家を挙
げて移ってきたのは、五十目村
から五城目町になって二年後の
ことです。津世子が生まれたこ
ろには、町長は渡辺徳太郎に代
わっていました。

母のチエは、近所の娘たちを

家へ通わせ、礼儀作法や裁縫を
教えていました。津世子にとつ
ては、なんでも聞いてくれる優
しい母でした。父は学校の成績
には一つも口を出さず、通信簿
を子どもたちが持つていくと、
黙って受け取り、神棚に上げて
しまう人でした。だから、子ど
もたちは何でも母に話しまし
た。

大正三（一九一四）年、津世
子は五城目小学校に入学しまし
た。奥羽線は明治三十五（一九
〇二）年に開通していましたが、
駅は隣り村の一日市（八郎潟町）
に設けられ、駅と町との間の四
十ほどを乗合馬車が連絡してい
ます。乗合馬車はテトテトとラ
ツパを鳴らして走っていました。

ラツパの音は、町外れから聞
こえてきます。やがて、馬車は
車の音を響かせて新畑町の当時
の小学校前を通り、古川町（今
の紀久栄町）の津世子の家の前
から下町町に入ります。終点は
今町でした。

文学碑に刻まれた津世子の随
筆は、小学校一年生のころのこ
んな思い出を書いたものです。
忘れられないふるさとの様子

と、そこではぐくまれた子ども
の心のみずみずしさを思い切り
懐かしんでいます。

やがて、乗合馬車は小さな機
関車に引かれる軌道に代わりま
すが、津世子はその汽笛の音を
知りません。二年生になって聞
もなく、父が十七年間務めた町
の助役をやめて、一家は秋田市
に移り、翌大正五（一九一六）
年、東京に移り住んだからです。
軌道が鉄道の駅と町を結んだの
は、大正十年のことでした。

津世子がこの町に住んだの
は、生まれてから小学校二年生
までのわずか八年間です。いろ
いろ記憶に残っているのは、物
心がついてからの四、五年のこ
とと思われまふ。それでも、自
分が生まれたふるさと五城目町
は、津世子にとって、とても大
切な土地だったのです。

文学への目覚め

津世子が女学校を卒業した前
年の大正十二（一九二三）年、
兄の不二郎は第一高等学校から
東京帝国大学（今の東京大）に
入学しています。

不二郎は妹の津世子を大変か
わいがり、女学校に入ったとき

庶民の朝市

「五城目の市日」といえば、昔から、
この近郷の人々が寄り集う慣わしであ
った。

町の目抜き通りの上町下町を通し
て、両側に、物売りが並ぶ。人が出盛
る。

（略）この頃の季節には、近くの八
郎潟から上がったばかりの白魚だの
小鮎だの、細い藻などからんだまま、
魚籃から一樹いくらで量られる。雷魚
売りの呼び声が喧しくなるのも、もつ
直ぐである。買い手は、ブリコ（卵）
のたつぷりはいったところを素早く選
み分けようとして、売り手との間に小
さな争いが起こる。

茸を売る女衆がひっきりなしに呼び
かける。奥山から背負ってきた小粒の
なめこが多い。枯れた葉っぱがくつつ
いていたりして、それなりに量ってい
るのを見て、買い手は笑いながら文句
をつける。そして、ひとつまみばかり、
まけさせる。

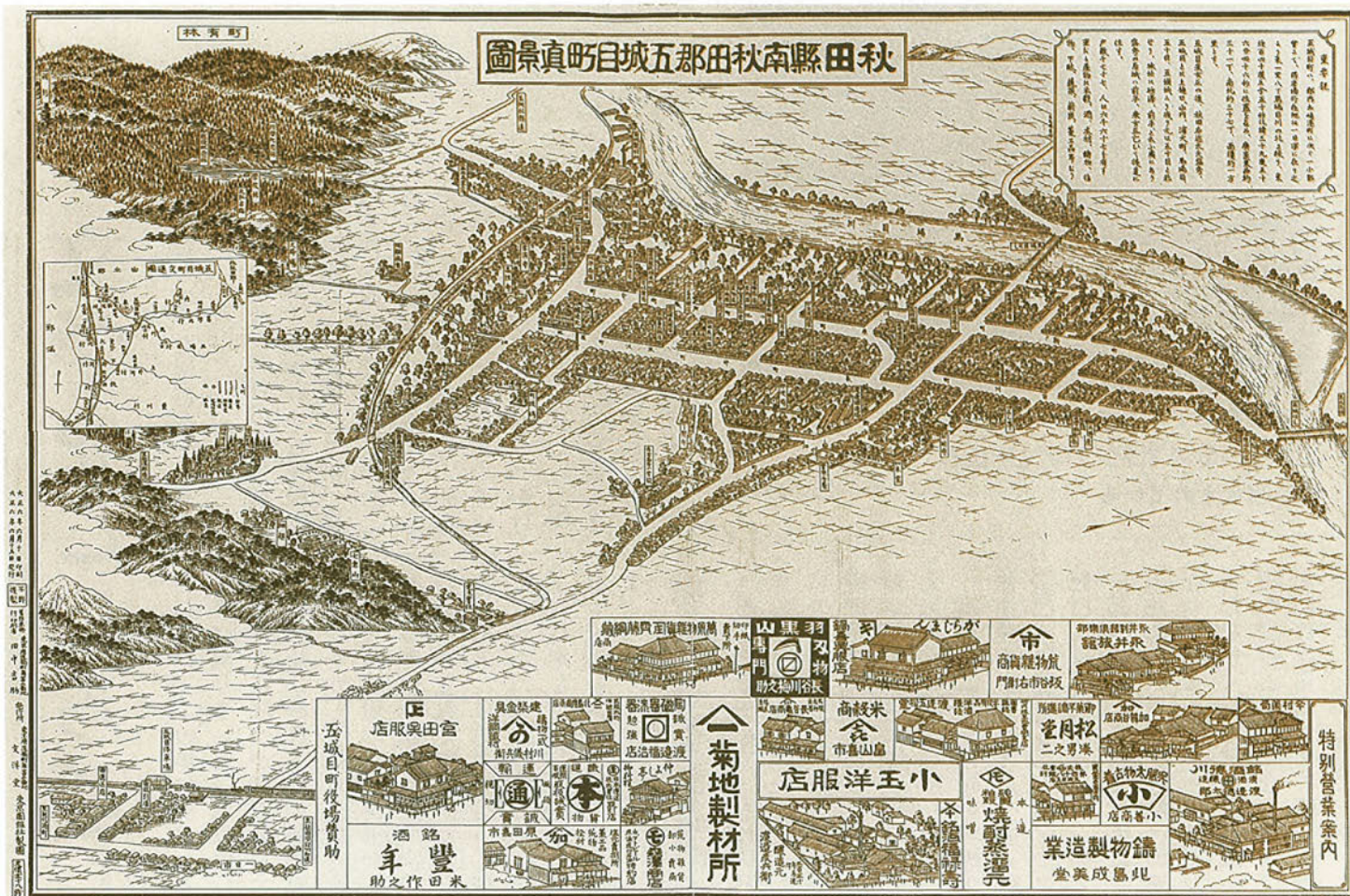
この物売りたちにまじって、町の小
商人たちも店を張る。下駄屋だの、
太物屋だの小間物類の雑貨屋だの……。

市の日は、飲み屋のかき入れ時で、
うす汚れの暖簾をびらびらさせた屋台
がいくつも並ぶ。まだ、荷もあけない
うちから、濁酒をひっかけに行ってい
る若い衆もある。

（凍雲）（昭和九年発表）

「天田津世子全集」

小沢書店（平成元年刊）（現代仮名遣い）



大正6年に発行された絵図 津世子の記憶にあるのはこんな町だった

から、「これを読んでみるといい。あとで感想を聞かしてくれないか」などと言って、いろいろな本を与えて、読ませていました。はじめは夏目漱石などの日本の小説でしたが、女学校を出てからは「チエーホフ」の作品を全部、そしてなんども読むといい。チエーホフを読むのが一番の勉強になる」と言って、チエーホフの小説を勧めました。このとき、不二郎が「勉強」と言ったのは、小説を書くための勉強のことを指しています。やがて、不二郎は、「ただ読むだけでなく、小説を書いてみたいと思わないか」と言うようになりました。

本当は、不二郎自身が作家になりたいと思っていたのですが、東京に出てきてから生活が楽でなかった矢田家のために、夢を捨てなければなりません。きらめた不二郎は、才能のある妹に、自分の夢を受け継いでもらおうと考えたのでした。それは、大正の終わりがから昭和の始めにかけて、日本で女性作家が活躍し始めたときでした。

大学を出た不二郎は、生命保険会社に入社しましたが、昭和二（一九二七）年、名古屋に転勤になりました。そして、二十歳の津世子も不二郎と共に名古屋

“同時代を生きた町出身者” 木村 謹 治 ●きむらきんじ



ゲーテ研究の権威

木村謹治博士は、明治22（1889）年、大川村（現五城目町大川）に生まれました。明治35年秋田中学に入学。その後、上京し慶応普通部、仙台の第二高等学校、東京帝国大学文学部へと進み、二高時代の英語の教授、土井晩翠の影響を受け、ゲーテ研究を一生の課題としました。

帝大を首席で卒業すると金沢の第四高等学校に教授として迎えられました。大正9年、ドイツ文学研究が評価され文部省在外研究員としてベルリン大学に留学し、ゲーテ研究の第一人者となって帰国しました。ドイツ留学から帰った翌大正

13年、謹治は母校東大独文科助教授となり、わが国での本格的ゲーテ研究が彼によって始められたのです。昭和8年、「若きゲーテ研究」により文学博士の学位を得て独文科主任教授となりました。故郷への思いと後輩への願いを託した大川小学校校歌を作詞したのもこのころです。

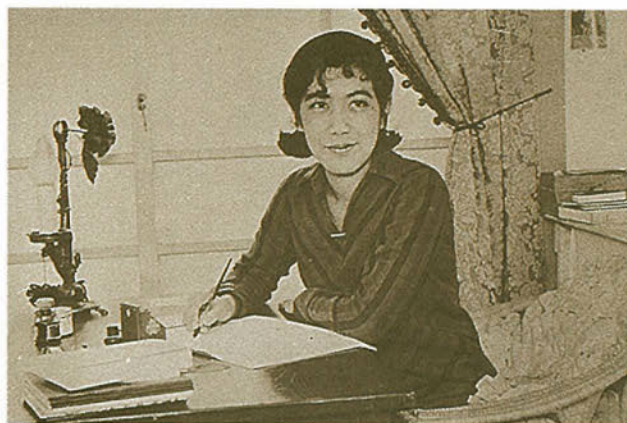
謹治は、毎年多くの論文を発表し、著書を刊行しながら、大変優れた「和独大辞典」を昭和12年に出版しました。また、昭和15年に出版した「木村・相良和独辞典」は、現在も版を重ね、ドイツ語を学ぶ学生のほとんどが用いるといわれています。

ゲーテ研究に全身全霊を傾けた謹治は、昭和23年1月、心臓病のために亡くなりました。しかし、今日も彼に教えを受けた独文学者が残され、その学統は脈々と息づいています。

文学をこころざして

屋へ行つて、文学修行を始めました。

まず、女性だけの文学団体『女人芸術』に加わった津世子は、昭和五(一九三〇)年、初めて小説『嗤い(わら)を投げかえす』をこの雑誌に発表しました。さらに、この年の暮れには、新潮社の『文学時代』の懸賞小説に入选しました。これがきっかけとなつて、昭和六年には『文学時代』に二度も小説を発表しました。どうか作家としてのスタートをきったのですが、津世子は一層勉強しなければならな



自宅の書斎で執筆を進める津世子
机の上の電気スタンドが文学記念
室に展示されている

いと思ひ、この年の秋、一人で東京に戻りました。東京にいると、次々に注文が来て毎月のように雑誌に津世子の作品が載ります。しかし、採り上げられるのは、ごく短い「コント」と呼ばれる軽い小説ばかりです。若い美しい女流作家という、文学界の寵児とも呼べる地位に、津世子は満足していません。津世子が目指していたのは、そんなコント作家ではなかったのです。

厳しい文学修行へ

不二郎はやがて、本社に勤務することになり、一家はまた東京で暮らすようになりました。津世子は成長しましたが、本当の小説を書けない悩みを心に抱え苦しんでいました。

津世子は文学仲間を求め、勉強を深めようと考え、同人雑誌『桜』に加わります。同人には、坂口安吾、田村泰次郎、井上友一郎らの後に立派な作家になる人たちがいて、よい修行の場になって、さらに、『日曆』の同人となり、作家武田麟太郎の指導を受けるようになります。同人には高見順、大谷藤子、円地

文子らがいました。

師匠になった武田は厳しい指導で有名でした。どんな弟子も徹底的にしごかれるのです。津世子も原稿を持ち込むたびに「だめ、だめ、こんなものは小説じゃない。女学生の作文と変わらんないじゃないか。お前には、目がないのか。物事の本質をつかりと見据えることが全然できてない」と、しかられ続けました。原稿は何度も書き直すように言われました。それまで、美人の作家と言われて甘やかされ、文学修行に生ぬるいところがあったのを反省した津世子の厳しい文学への姿勢が定まったのです。津世子は死にものぐるいになりました。

弟子の原稿を読んでも、めったに「よし」と言わない武田が、津世子を前にして「これはいい。どうとういいものを書いたね」と言つて笑いかけてました。その『神楽坂』という作品は、矢田家が上京して名古屋に移るまで住んだ飯田町の隣り町神楽坂を舞台としたもので、登場人物には秋田に関係する人物が出てきます。津世子は自分の見たものを元に、この作品を何度も書

ちやがゆ 名作『茶粥の記』

忌明けになって姑の心もやうやう定まり、清子と二人は良人の遺骨をもつて、いよいよ郷里の秋田へ引き上げることにした。秋田といつてもずつと八郎瀧寄りの五城目といふ小さな町である。(略)

荷をあらかた送り出して明日立つといふ前の朝、清子は久しぶりで茶粥を炊いて姑と二人で味はった。良人のお骨へはふだん用ひつけてゐた茶碗に少しばかりよそつて供へた。この茶粥は良人が好物だった。大分



以前から食通として役所の人たちや雑誌の上などで名が知られてゐたやうなので、ついその賞め言葉に乗つて一途な清子は無暗とお粥をこしらへる。それが毎朝つづくといふ風でしまひには姑も良人も笑ひ出してしまふのだった。

〈茶粥の記〉(昭和十三年発表)

『矢田津世子全集』

小沢書店(平成元年刊)

・解説は八ページ

特集●郷土が生んだ女流作家
津世子が愛する五城目
思い出の町と美しい心



日曆の同人 立っているのが高見順
中央津世子の右隣が大谷藤子
左隣が園地文子
津世子だけが洋装であった

き直し、苦心に苦心を重ねて書き上げたのでした。

『神楽坂』は、『日曆』が合流した『人民文庫』に発表されました。昭和十一（一九三六）年、二十九歳のときです。そして、この作品は第三回芥川賞候補になります。残念ながら賞を受けることはできませんでしたが。しかし、この小説は大変な評判になり、津世子は一人前の作家と認められたのでした。

十二月には、津世子の最初の小説集『神楽坂』が改造社から出版され、ベストセラーになりました。そのほか、『妻の話』『桐村家の母』『やどかり』『女心拾遺』など、優れた作品を矢継ぎ早に発表しています。

生涯を捧げた夢

な努力の積み重ねがようやく実を結んだのです。

文学碑にその一節が刻まれた『思い出の町 五城目町』を『婦人公論』に書いたのは、昭和十二（一九三七）年、三十歳のときです。このころが津世子の最も活躍したときだったと思われまふ。

津世子は、昭和十三年から病床につくことが多くなりまし。た。いつの間にか、肺結核に侵されていたのです。それでも筆を捨てず、『鴻ノ巣女房』『花陰』『茶粥の記』『蔓草』などを発表しています。また、『母と子』『家庭教師』は映画化もされました。

なかでも、『改造』に載った『茶粥の記』は、津世子の最高傑作といわれ、今でも『神楽坂』と並んで高く評価されています。病氣によつて人生を見つめることがさらに深まり、それが津世子の書く作品ににじみ出て、読む人の心を打ったのです。『茶粥の記』は、不二郎の話をヒントにして書いたといわれていますが、主人公の郷里を「秋田といつてもずっと八郎潟寄りの五城目という小さな町」と作品に書いてあります。

かつたふるさとを津世子は忘れられず、ほとんどの小説に五城目や秋田のことが出てきます。

秋田弁や秋田の食べ物も出てきます。病氣と戦いながら小説を書き続けた津世子は、幸せだった幼い日を懐かしみ、ふるさとの山や川や人々をどんなに思い浮かべたことでしょう。

そのころは、今のようには結核に効く薬はなく、栄養をとって静かにしているという方法しかありませんでした。しかし、太平洋戦争が激しさを増し、食糧難はひどく、病気の進行を止めることはできませんでした。

そして、昭和十九（一九四四）年三月十四日、三十六歳の若さで亡くなりました。

文学の上で津世子の無二の親友だった大谷藤子は「その生涯を書くために生き、そのために結婚もしなかつた。真に才能豊かな小説家で、誠実と信頼に生きた人である。彼女は、まれにみる美しい人であった」と回想しています。

今年、津世子が生まれてから九十年。近代文学研究が進むにつれて、庶民の悲しみを表し、貧しい人への愛が満ちあふれた津世子の文学作品への評価が高くなり、世田谷文学館などの企画展に矢田文学の資料が展示されるようになりました。

“同時代を生きた町出身者” 小野源蔵 ●おのげんぞう



教育評論家として活躍

小野源蔵（号・花城）は、畠山豊助・モヨの二男として明治22（1889）年、富津内村（現五城目町富津内）に生まれました。明治39年秋田師範学校に入学したころ、『美しい社会をつくろう』という源蔵が追い求めた理想と決意が、胸の中に育ち始め、花城という号を使い始めました。師範学校を卒業後、秋田市の中通小学校に勤めたとき、小野節世と結婚し、姓が小野に変わりました。

大正2年、東京高等師範学校（後の東京教育大、今の筑波大）に入り、卒業後、中学校（今の高校）に勤めた後、大正9年、東京帝国大学（今の東京大）付属図書館司書となりました。そ

の後、日本赤十字社博物館の学芸員も勤めました。『学校だけが教育に当たるのではなく、図書館や博物館なども教育を押し進めていくのだ』という考えを自ら実行したのです。また、新しい教育を進めるという立場から、たくさんの論文で、自分の考えを発表し、教育評論家としてその名を高めました。東京の源蔵は、秋田県人であることを誇りに思い、県出身者のまとめ役、また、教育関係の後輩の指導者として頼りにされました。

昭和23年、戦後の秋田県教育を立て直そうという人々の願いを受けて、源蔵は秋田に帰り、秋田女子実業学校（後の敬愛学園、今の国学院高校）の校長、専務理事になりました。『新しい日本は、立派な母親の手で築かなければならない。だから、女子の教育が大事なのです』と説かれました。

昭和32年3月、67歳で亡くなりました。

特別インタビュー

庶民を描いた

矢田津世子



町文化財保護審議会
副会長

小野一二さん

●おのかつじ

昭和3(1928)年生まれ。田町在住、元内川小学校校長。在職中から町文化財保護審議会委員、森林資料館運営委員長などを務められる。秋田人物風土記に矢田津世子を執筆。日本文芸家協会会員。

この町を愛した矢田津世子。その文学的評価はどうだったのだろう。昭和五十九年の文学碑の建立、平成七年の文学記念室の公開などに力添えをいただいた小野一二さんにお話を聞いてみました。

小野さんが町出身の矢田さんの文学と出会ったきっかけをお聞かせください。

津世子の生家跡と私の生家がすぐ近所だったんです。そして、その文学に触れたとき、しがない庶民へ温かい目が注がれていて、ヒューマニズムに心を打たれました。

津世子は坂口安吾と出会って、さらに文学への志が高まったのです。

新進作家の坂口との出会いは津世子にとっては衝撃的なことだったでしょう。それまで津世子は美人の女流作家ということでマスコミによく登場するようになりましたが、自分の文学的実力以上に取り上げられ、悩んでいました。まじめに純文学を追求する坂口に出会い、多くのことを学んだと思います。やがて、津世子は結婚までも決意しましたが、結局、津世子は結婚よりも文学を追求しました。津

世子は文学に誠実に生きた人なんです。

津世子の文学を手短に解説してください。

では「茶粥の記」から…この作品の発表は「神楽坂」から五年後の昭和十六年で

す。それは津世子の死の三年前で、病状の悪化と戦争末期でもあり、昭和十八、九年には作品の発表がありません。「鴻ノ巣女房」と一緒に、津世子の最後の作といつてもいい作品です。

主人公の清子が、夫を亡く

もつと 書き続けてほしかった

し、姑と二人で引き上げる先は五城目です。亡くなった夫はかつて、一日市の小学校に勤めていたし、清子も引き上げ後は小学校に勤める予定になっていきます。そうした消息の中に湖東部の地名や人脈が見られ、五城目の出身だと読みとれます。また、秋田出身の雑誌記者も登場します。そのような角度からのぞくと、この小説は秋田同郷小説の趣があります。津世子の作品は、出世作の「神楽坂」からずつ

と同郷の庶民の姿を女性の視点でとらえたものばかりで、それが成功しているといつても良いでしょう。

津世子は五城目や秋田の情報はどうやって得ていたのでしょうか。

それはお兄さんの不二郎や身近な秋田出身の人たちや、東京にいながら読んでいたさきがけ新聞などからです。津世子にとっては良い「取材源」になったことでしょう。その接点で「茶粥の記」という傑作が生まれました。

津世子の五城目に対する思

いはきつと深かったんですね。

五城目での津世子の生活は多感な少女時代の入口にさしかかったところで終わっています。でも、津世子は好奇心がおおせいな、何にでも興味を覚えるような子どもだったと思います。市日のにぎわいや、一日市と結ぶ馬車などを見て、庶民の生活を肌で感じていたんじゃないでしょうか。短命であつたので作品も少なく、本当に惜しいと思います。もつと書き続けてほしかった

ですね。

津世子が生きていれば九十歳。先日までNHKで放送されていた「あぐり」の主人公吉行あぐりさんも九十歳です。きつとあのあぐりの美容室に通ってたんでしょね。

それはどうでしょう。津世子は「婦人画報」のグラビアページを飾るなどの人気者でした。ヘアモデルをした写真も雑誌に載っています。だからあぐりさんとも接点があつたかもしれません。(笑い)

文学記念室は貴重な資料ばかりと聞いていますが…

近年、昭和初期の文学の研究が進み、その中で町出身の津世子が再評価されています。近ごろは文学展ばかりで、そうした企画展に記念室に保存されている遺族からいただいた資料が貸し出されています。特に津世子にあてられた同時代の作家らの書簡は近代文学の重要資料です。

平成七年にオープンした文学記念室は町内だけでなく遠くからのお客さんも増えています。東京などからの近代文学の研究者たちは、貴重な資料に驚いています。町民のみならずもぜひもう一度ご覧になってください。

津世子はいろいろの人のお話しを
元に小説を著しました
町でもみなさんの提言をうかがい
町政に生かします



一日生涯学習課長
山崎恵美子さん

へに参加
が少ない
ように思
います。
何か良い
方法はな
いのかと
思います。

行事は参加する町民を考え、ほとんど休
日に行われています。職員は休日も出勤で
大変だと思っています。
地区公民館の利用や、運動会などの行事

もっとと行事へ参加を



一日企画振興課長
村上 秋子さん

方々を迎
えるのに
職員の
みなさん
は大変な
気遣いをして
いるの
を感じま
した。

ふだんは住民の立場で、役場に入っていく
のに、今日は逆の立場で、お客さんを迎える
立場になりました。
いろいろなお客さんが見えになり、その

職員は大変な気遣い



一日農林課長
佐々木雄幸さん

また、
農業の基
盤整備が
担い手の
確保に当
たるかと
いう疑問
も感じま
した。

事業量の多さに驚きました。事業を進める
には財政とのかねあいが必要ということも
わかりました。現場が多い割には職員数が少
ないように感じます。

少ない職員数で健闘

十一月十四日、町民のみなさんから、役場の課長とし
て勤務する『町民一日課長』を行いました。これは、課
長勤務の経験を通して、意見や提言などをうかがい、そ
れを町政に生かしながら、町の仕事の理解を深め、より
よいまちづくりに役立てることを目的としています。
みなさんは、役場に出勤すると佐藤町長から、町の現
状などの説明を受けました。その後、それぞれの課長の
席に着くと各課が抱えている事業などについて、職員か
ら説明を聞いたり、文書や伝票に目を通し決裁をしたり
などの仕事をこなしました。午後からは、各課が担当す
る施設や工事現場を見学し、意見交換では、この日の体
験を通して感じたことやまちづくりへの提言が話し合わ
れました。

津世子が愛する町 “町民一日課長体験”



一日建設課長
宮田 聡子さん

前に、広報
などで内容
を知らせ、
それに町民
の意見を取
り入れるこ
とができる
ものかと思
います。

土木工事、都市計画、町営住宅などのいろい
ろな仕事を抱えている建設課を身近に感じるこ
とができました。
いろいろな計画がありますが、計画が決まる

計画に私たちの声を



一日福祉保健課長
阿部 明子さん

一人ひと
りケース
が違い、
職員も対
応に気を
遣っている
のがわか
りました。

医療費の多さに驚きました。みんなで自己
管理をしつかりし、健康を保たなければなら
ないと思います。
また、予防接種一つ例にとっても複雑で、

医療費の多さに驚く



小林 慶 くん
(五城目一中2年)

自然を引き継ぐ

僕たちの町の先輩にはたくさんの方がいます。矢田さんもその一人で、誇りに思います。矢田さんが生まれたこの町の自然も大切に、ずっと引き継いでいきたいと思っています。



坂谷 奈々さん
(五城目一中1年)

いい町にしたい

私の家は古くからお店をやっている、もしかしたら、矢田さんもお通いで来たんじゃないかと思うと、わくわくします。歴史ある町をいい町にするため、みんなで努力していかなければと思います。



菊地 角称くん
(五城目一中2年)

みんなが幸せに

矢田さんで、すごく頭のいい人だと思います。確か成績も今でいうオール五だったかと思います。矢田さんが暮らした町でみんなが、今のまま幸せになれるといいと思います。

五城目も引き継ぐ

津世子の小説に登場する五城目。
町民みんなが愛する五城目。
この郷土への気持ちは、
みんなの共通の思いです。



千田ひとみさん
(五城目一中1年)

町をもっとPR

矢田さんは、困難を乗り越えた人なので、強い人だと思います。五城目は朝市の歴史も古く、自然もたくさん残っているし、もっともっと町外の人にも知ってもらいたい。



小松 真澄さん
(五城目一中1年)

友達を大切に

矢田さんはたくさんの方の友達にも恵まれていたと思います。私も友達を大切に、みんなで助け合っていきたいと思っています。町も今のまま、みんなが助け合っていけたらいいと思います。



猿田 和敏くん
(五城目一中1年)

緑を大事に発展

その時代は着物を着ている人がたくさんいたのに、矢田さんは洋服を着ていました。進んでいた人だと思っています。町はそれからずいぶん発展しました。これからも緑を大事に発展してほしい。



菅生 亜紀さん
(五城目一中1年)

朝市を大切に

矢田さんのことを五城館の文学記念室で学びました。ずっと前の人なので難しかったです。矢田さんもきつと行った朝市が今も続いているし、みんな大切にしていかなければと思います。



ゆいこ
三浦 結子さん
(五城目一中1年)

まちを知って

作文を書くことが好きなので、矢田さんもそうだったのかなと想像しています。すこい矢田さんのことや町の歴史のことをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思います。



ひかる
小玉 照くん
(五城目一中2年)

近代化が進む町

矢田さんのような生き方はまねができません。その時代に比べると町は相当近代化が進みました。高速道路やジャスコもできるし。でも、自然も残していかなければいけないと思う。



千田あさみさん
(五城目小6年)

馬車が夢を運ぶ

矢田さんのような女性が町出身なんて、すごくかっこいいと思います。きつと子どものころ、鉄道まで走る馬車を見て、大きな世界への旅立ちにあこがれていたんじゃないかなと思います。



ゆきこ
大原 侑子さん
(五城目一中1年)

自然を残して

矢田さんは早く死んじゃってかわいそうに思いました。きつと長生きしたらもっと有名になっていたと思います。矢田さんが生まれたころから残っている自然を残していきたいと思います。

津世子が愛 わたち

矢田津世子さんを学んだ小・中学生に
矢田さんのこと、私たちの町のこと…
お話を聞いてみました。



ひろあき
大石 宏之さん
(五城目一中1年)

まちを引き継ぐ

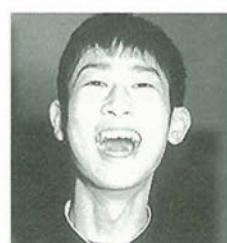
矢田さんはたくさんの人から多くのことを学んだと思います。僕たちも矢田さんが大好きだった町の自然や歴史を引き継いでいくことが、大切なことじゃないかなと思います。



みく
児玉 未来さん
(五城目一中1年)

この町を誇れる

矢田さんは、私には想像のつかないくらいすごい人だと思います。五城目は食べ物もおいしいし、矢田さんのようなすごい人も生まれているし、だれにでも誇れる町だと思います。



まさたか
朝野 正敬くん
(五城目一中1年)

明るく助け合う

矢田さんが生まれた九十年前のことを想像するのは、難しいです。矢田さんが生まれた五城目は、みんなが助け合って、明るい良い町のまま、ずっと続いていたらいいと思います。

夢が
パワーです

わたしたち 津世子の町は今

21世紀へ向かって 後期五か年計画が動く

ふるさと五城目町。それは矢田津世子が、幾多の先人が、この地を愛し、誇りとし、その時代時代にふさわしい明るさや豊かさを求めながら、額や手に汗して築き上げてきた町です。そして、その豊かな自然や資源とともに生き、固有の文化や伝統を育ててきました。

ときの流れとともに、ふるさととは人口の減少や高齢化、少子化が進んでいます。『過疎からの脱却』は、町施策のすべての土台です。しかし、それは一朝一夕ではできません。未来に夢や希望を抱き、変わらぬ強い意志とたゆまぬ努力が必要です。

町新総合発展計画

①基本構想

二十一世紀の望ましい町を創造するための指針としてつくられたものです。

“潤いと活力に満ちたフレッシュタウンの創造”を基本理念にしています。

目標年次を平成十三年（二〇〇一年）とし、町の現状を踏まえて望ましい将来像を定め、それを実現するための基本的な方向と主要施策の大綱を示しました。

②基本計画

基本構想で設定された町の姿を実現するために、各部門ごとの現況と課題を掲げながら、主な施策を示しました。

③実施計画

基本計画で示された諸施策を現実的にとらえ、その施策をどのように実施していくかを具体的に示したものです。

この実施計画は、平成四年度から平成八年度までを前期五か年として、年度別実施計画を明らかにしています。

また、平成九年度から平成十三年度までを後期五か年計画としています。

④計画の性格

後期五か年実施計画は、平成三年度につくり上げた町新総合発展計画の基本構想と基本計画に基づいて平成九年度から十三年度までの施策を具体的に示したものです。しかし、国・県の施策の変化や社会情勢の変動に対応するため、それぞれの計画が大幅にかけ離れた場合に、これを補完、改定する性格があります。

このため、九年度以降に実態と合わなくなった部分は、財政計画や事業計画にかかわらず改定します。

ふるさとの発展に
努力します



一、特性を生かした快適な環境づくり

豊かな自然と便利さを合わせ持つ生活環境の中にゆったりとした居住空間があり、周辺には余暇を楽しむ公園やレジャー施設が整備されています。また、アクセス道路の整備や新しい産業育成への積極的な取り組みは明るい将来へのステップ。

人間らしい生活が営める町としてさらに魅力を高めていきます。

具体的には…

町道、公園の整備、定住促進対策、町営住宅の建設、上・下水道、簡易水道の整備など

二、調和のとれた活力のある産業構造の確立

過去から受け継がれてきた貴重な自然資源を生かす伝統ある産業を発展させ、新しい産業の育成もより活発に進めます。

さらに、観光・商業など地域に密着した産業にも新しい息吹を吹き込むことで、各分野にバランスのとれた産業の発展を目指します。

具体的には…

林道、農道の整備、林業の保育、観光・レクリエーション施設の整備、農業基盤整備、農業集落排水の整備など

三、健康で明るい福祉のまちづくり

だれもが健康で生きがいのある充実した生活が送れるように、あらゆる面から健康・福祉を考えます。

豊かな自然と心が潤う環境をだれもが利用できる福祉情報発信基地として活用します。

さらに在宅看護やボランティア活動の推進による高齢化対策などハード面の整備と行政施策、住民パワーを一つにし、明るい長寿社会を実現します。

具体的には…

一般廃棄物埋立処分場の建設、生活環境施設の整備、

福祉保健センターの建設、消防施設の整備、高規格救急車の配備など

四、進取性・創造性に富んだ人づくり

幼稚園から小・中学校にいたる学校教育機関はもとより、生涯学習のより一層の充実を図り、進取性・創造性に富んだ人づくりを目指します。

具体的には…

学校教育施設の整備、幼稚園の改築、社会教育施設の整備、朝日放送中継塔の整備など

五、開かれた町政とゆとりある財政運営を目指して

行政事務のＯＡ化が推進され、町政座談会の開催などにより、町民の意向が十分反映された豊かな創造性をもったまちづくりが展開され、また、財政運営については各種基金を活用した効率的な運営が行われています。

具体的には…

行政改革大綱の推進、インターネット活用型地域情報ネットワークの整備、行政事務のＯＡ化など

後期五か年実施計画は、前期五か年実施計画の成果や反省を踏まえ、新総合発展計画の具現化を目指しています。定住のための環境・基盤整備をより進めるほか、ハード、ソフト両面の施策に取り組み、町の都市機能の一層の充実と魅力づくり、そして農山村社会の維持機能の充実を図り、農林商工観光などの産業振興、高齢化社会に対応する福祉保健医療の充実、教育の振興などの基盤づくりを進め、「定住」「交流」「にぎわい」のあるまちづくりを目指して努力します。

輝かしい功績をたたえて

町功労者表彰式典

十一月三日、広域五城目体育館を会場に「町功労者表彰式典」が行われ、町内外から参列した約三百五十人のみなさんが功労者らの晴れの受賞をたたえました。

今年度の功労者には、前助役の菊地耕二さん。部門別功労者には石井良治さんから七人が選ばれました。また、式典では、栄光賞、町内会長功労者などの表彰も行いました。



町功労者の菊地耕二さんと表彰状を受け取られる奥様

ママさんコーラス、コール

「もりやま」のみなさんの「若き郷土の歌」で始まった式典は、町功労者表彰など各種表彰、来賓祝辞、町民の歌斉唱、五城目天翔太鼓の演奏と続き、功労者の受賞をお祝いしました。

表彰された方々は次のとおりです。なお、功労者の方々に

については十一月号で紹介しています。(敬称略)

◎栄光賞

石井 淳一(畑 町)

館岡 政貴(上高崎)

工藤 聡(畑 町)

土橋 傑(曙 町)

佐々木照雄(恋 地)

◎部門別表彰者

○町内会長表彰

川尻 祐一(紀久栄町)

○納税功労表彰(団体)

広ヶ野納税貯蓄組合

(塚本西二組合長)

希望ヶ丘納税貯蓄組合

(伊藤和三郎組合長)

水沢第一納税貯蓄組合

(越高茂雄組合長)



部門別功労者のみなさん

○献血功労表彰

佐藤 久美子(中 村)

猿田 末治郎(上樋口)

伊藤 守(黒 土)

早坂 悦子(岡本二区)

小林 正志(下山内)

佐藤 久夫(中 村)

○優良従業員表彰

阿部 幸三(岡本二区)

山田 隆一(広ヶ野)

大川谷地中第二納税貯蓄組合
(渡辺市郎組合長)

平成10年度 保育園入園のご案内



町内各保育園では、平成10年度の新入園児を募集します。保育園は家庭の都合で保育できない児童を対象としています。入園申請書をよくご覧のうえ、手続きしてください。なお、現在入園しているお子さんが引き続き入園する場合も申請が必要です。

○五城目・内川・大川保育園

- ・入園申請書配付期間 12月10日～12月12日
- ・入園申請書配付場所 各保育園と町役場福祉保健課
- ・入園申請受付期間 平成10年1月8日～1月13日
- ・受付面接会場 町役場 町民談話室

○馬場目・杉沢・富津内保育園

- ・入園申請書配付期間 12月10日～12月12日
- ・入園申請書配付場所 各保育園

・入園申請受付期間

平成10年1月7日～1月9日

・受付面接会場 各保育園

○すこやか子育て支援事業

戸籍上の第三子(実子)以降の子どもの保育料を免除します。

▷申請書の受け付け 保育園入園申請時に受け付けます。

▷提出する書類

・免除申請書、戸籍謄本

※お問い合わせは、各保育園または役場福祉保健課(☎52-5128)へ

自慢の力作一堂に 第二十一回産業文化祭



期間中たくさんの方がおいでになりました。

十一月一日から、四日間、産業文化祭が広域五城目体育館を主会場に行われました。期間中、会場では、農産物や商工業製品などの展示、お茶会、町芸文協発表会などのイベントが行われました。

十一月四日には、産業文化祭褒賞授与式が行われ、農産物や商工業製品などの出品展示物約四百二十一点（児童生徒作品を除く）の中から百三十点が表彰されました。また、特に優れた方々に県知事賞など特別賞が贈られました。

受賞に輝いたみなさん

（敬称略）

複合経営農家褒賞

○優秀賞 草皆ミチエ（帝釈寺）

農産物の部 出品点数118点

○優秀賞 本間吉金（館越）館岡アチ子（上高崎）石井久美雄（小倉）本間イッ子（館越）

佐藤源一郎（谷地中）草皆松太郎（帝釈寺）

○優良賞 猿田理記雄（上樋口）佐藤ヒロ子（谷地中）金子栄作（西野）本間イッ子（館越）

本間松子（館越）田中洋一（乙市）

○奨励賞 村上稔明（下高崎）田中洋一（乙市）佐藤修二（築地町）猿田ミチ（館越）

伊藤良耕（台）猿田正美（上樋口）三浦勇子（上樋口）草皆ミチエ（帝釈寺）館岡サダ

又（上樋口）沢田石貞夫（湯ノ又）猿田政博（上樋口）、畑沢兼道（湯ノ又）

商工の部 総出品点数118点

○優秀賞 渡辺琢智（田町）伊藤忠次（高崎）齊藤政作（新

畑町）佐々木広志（田町）渡部寛征（田町）

○優良賞 長谷川重雄（畑町）小川秀雄（中川原）一ノ関祐蔵（畑町）荒川善一郎（田町）

山平富子（新町）関口正之（田町）

○奨励賞 城東産業（町村）新谷秋蔵（米沢町）柴田喜芳（古川町）本間市郎（館越）

鷲谷隆（西磯ノ目）川波鉄美（昭辰町）小玉吉雄（高崎）畑沢修一郎（田町）

造林コンクリートの部 出品点数24点

○優秀賞 児玉茂（中村）

○優良賞 石井忠光（中村）石井研一（黒土）

○奨励賞 猿田徳雄（浅見内）佐藤与志美（中村）

生活工夫展の部 出品点数36点

○優秀賞 青山征悦（大川）

○優良賞 松橋テイ子（湯ノ又）一関広子（久保）

○アイディア賞 伊藤邦子（乙市）斎藤美枝（町村）

○努力賞 猿田政子（中川原）館岡カチエ（上高崎）

うまい米づくりの部

○優秀賞 佐々木義宣（恋地）

○優良賞 嶋崎弘（下樋口）佐々木仁茂（岡本）

○奨励賞 小玉恵一（台）沢田石幸雄（湯ノ又）猿田孝蔵（上樋口）

繁殖和牛共進会の部 出陳数15頭

○優秀賞 日吉元次郎（中村）

○優良賞 石川幸雄（杉沢）小玉金五郎（恋地）

○奨励賞 石井鉄雄（寺庭）金沢昭夫（坊井地）

福祉展の部 出品点数17点

○優秀賞 佐々木仁光（岡本）

○努力賞 北島礼三郎（大川）北嶋倉治（大川）伊藤チヨ（田町）

○アイディア賞 渡辺礼吉（矢場崎）

文芸作品展の部 応募者総数50点

○短歌 入選1位 山平富子（新

町）同2位 小熊正明（大川）佳作1位 北嶋倉治（大川）

同2位 大宮一郎（浦横町）同3位 細田ゆう子（畑町）

○川柳 入選1位 一関北柳（畑町）同2位 佐々木敏子（希望ヶ丘）佳作1位 柳原紅

（東磯ノ目）同2位 鍋谷福枝（長町）同3位 加藤ヒサ（一番町）

○俳句 入選1位 本間羊山（館越）同2位 大原春（新畑町）

同3位 伊藤みゑ（今町）佳作 猿田天鳴（樋口）加藤敬子（石崎）近江安司（紀久栄町）

○随筆 入選 渡部古都（新町）佐藤栄子（谷地中）佳作 本間与四郎（館越）渡辺賢蔵（雀館）

○詩 入選 細田実（館越）小玉洋子（田町）

花いっぱい運動（花だん）コンクリートの部

一般団体

参加総数34団体

○最優秀賞 湯ノ又いろいろ会

○優秀賞 大川老人クラブ、富田老人クラブ、黒土老人クラブ

○優良賞 湯ノ又第一老人クラブ、浅見内老人クラブ親睦会、中村老人クラブ、高千老人クラブ、帝釈寺老人クラブ、西野老人クラブ、谷地中老人クラブ

○努力賞 新畑町町内会、上山内老人クラブ、台御蔵下老人クラブ、寺庭老人クラブ、寺庭子供育成会、蓬内台老人クラブ、石崎光風会

○奨励賞 岩野老人クラブ、湯ノ又第2老人クラブ、八田・長面老人クラブ、落合老人クラブ、北北口老人クラブ、町村老人クラブ、上高崎老人クラブ、浦横町老人クラブ、岡本二区老人クラブ、矢場崎老人クラブ

学校・職場の部 参加総数9団体

○最優秀賞 馬場目小学校

○優秀賞 老人ホーム森山荘

○優良賞 富津内小学校、内川小学校

○努力賞 特別養護老人ホーム広青苑、五城目保育園、五城目営林署、トキメキ農園、大川小学校

子どもたちの歓声が響く 第3回児童館まつり

10月25日、児童館まつりが行われました。この日は天候に恵まれず、広域五城目体育館を会場としました。

会場では、ミニ四駆レース、親子ゲーム、ミニ新幹線、タコ作りなどいろいろな催しが繰り広げられました。参加した親子連れや子どもたちは民生児童委員や県レクリエーション協会のみなさんと楽しい1日を過ごしました。



伝承遊びコーナーでは昔ながらの遊びをおじいちゃんおばあちゃんと一緒に遊びました

バレエで観客を魅了 男鹿・南秋芸文協舞台発表



町にはたくさんのプリマドンナが育っています

11月9日、天王町中央公民館で、男鹿・南秋地区芸文協連絡協議会の舞台発表会がありました。町からは「ふあいんバレエスクール」が出演し、クラシックバレエを演じ、かわいらしい踊りにたくさんの拍手が贈られていました。



優勝は第5分団 気合い鋭い小隊訓練を見せてくれました

日ごろの練習成果発揮 消防規律訓練大会

11月2日、雀館運動公園運動広場で町の消防規律訓練大会が行われました。参加した消防団員のみなさんは、分団ごとに、日ごろの練習の成果を発揮し、きびきびとした動作で、通常点検、小隊訓練を行いました。



県南と県北がぐっと近くなりました 高速道路の利点が身近に

次は五城目インター 昭和・男鹿半島インターが開通

11月13日、秋田自動車道、秋田南IC（インターチェンジ）～昭和・男鹿半島IC間が開通しました。これにより、朝夕の秋田市内の渋滞に巻き込まれることなく、横手や仙台、東京方面に高速道路の利用だけで行くことができます。次は五城目ICです。本格的な高速交通時代に突入します。

よみがえれブナの森 ブナ植林今年で5000本

11月3日、馬場目川上流部の国有林で、ブナを植えることで、きれいな水を取り戻そうと「第5回ブナを植えるつどい」が行われました。

町内外から参加した約150人のみなさんにより約1万本の苗木が丁寧に植えられました。パーベキューの昼食後、村上浩康さん&由紀さんのコンサートも行われました。



大きく育つようお願いを込めていねいに植えられました

祝 創立記念 杉沢小110周年、五城目第一中・杉沢中50周年



内川、馬場目、大川、富津内中の懐かしい校歌も五一中に響きました



杉沢小・中合同の温かい式典で、ますます発展することを誓い合った

杉沢小学校の創立110周年記念式典（11月2日）と五城目第一中学校（10月26日）、杉沢中学校（11月2日）の創立50周年記念式典がそれぞれ行われました。

式典には児童、生徒のほか、教職員、PTA会員らが出席し、これまで歩んできた長い校史と伝統を振り返り、ますます発展することを誓い合いました。

昭和22年、新制中学として開校した五城目中学校は、同33年富津内中西学区を統合し、五城目第一中学校となり、同42年内川中、同44年馬場目中、同49年大川中、同62年富津内中を統合し現在に至りました。式典後のアトラクションでは、内川・馬場目・大川・富津内中、そして五一中の校歌を歌い、50年の歩みを振り返りました。

また、杉沢小学校は明治19年、馬場目村に馬場目小学校杉沢分教室として創立しました。その後、昭和30年に町村合併により五城目町立杉沢小学校となり、昨年度で110周年を迎えました。杉沢中学校は、昭和22年、馬場目中学校杉沢分校として創立し、昭和30年に町村合併により五城目町立杉沢中学校となり創立50周年を迎えました。閉式後のアトラクションでは、地域の伝統芸能「恋地番楽」を小中合同で演じました。

地区ごとに多彩な催し 地区公民館まつり

10月24日から26日にかけて、各地区の公民館では公民館まつりや地区住民まつりが行われました。

それぞれの地区公民館には、住民が出品したいろいろな作品が展示され、また、ゲートボール大会やグランドゴルフ大会、講演会、芸能発表などが多彩に披露され、地区の住民みんなが楽しみ合いました。



富津内地区では芸能発表にたくさんの方が駆けつけました

第14回国保杯ゲートボール大会（11月1日）

▷優勝 湯ノ又チーム、準優勝 野田チーム、第3位 田町チーム、敢闘賞 富田チーム

第41回森山登山競技会（11月3日）

- ▷一般男子団体（7,700円） 1位榊宮盛、2位五城目JC、3位町役場競走部
- ▷一般男子個人（7,700円） 1位吉田兆（金足農高）2位沢田石涉（金足農高）3位松田春樹（金足農高）
- ▷中学男子団体（6,700円） 1位秋大付中陸上競技部A、2位羽城中A、3位大潟中野球部A
- ▷中学女子団体（3,500円） 1位羽城中

- B、2位羽城中A、3位五一中陸上部
- ▷中学男子個人（2,000円） 1位今野智城（五一中）2位佐々木大輔（五一中）3位原田亮平（五一中）
- ▷中学女子個人（1,700円） 1位錦織静香（五一中）2位畠山菜津美（五一中）3位本間五月（五一中）
- ▷ファミリーコース（1,700円） 1位小森正徳、一徳



選手宣誓は椎名吉政くん（五一中野球部）

みんなの美術館

防火ポスターコンクール 入賞作品 (出品数42点)

最優秀賞の浅野さんの作品は、
消防署のシャッターに描かれています。



最優秀賞 浅野 香奈さん (大川小・5年)



優秀賞 金野 絢子さん
(馬場目小・5年)



優秀賞 畠山 彩さん
(富津内小・5年)



優秀賞 林 里美さん
(五城目小・5年)

うぐいめのみま

【短歌】

いたづらをせんとや生れしあちこちに
落書きを残し孫は帰れり

畑町

伊藤 義成

雁行のすこし乱れて行く空の
かなたや城跡の岡やさしかり

大川

小熊 正明

朝くればまた渋滞とならむ道
星かぎりなく夜半は鎮もる

浦横町

大宮 一郎

後継ぎの住ませぬ世相かともしびの
灯らぬ家々郷たそがるる、

田町

藤原 ふみ

トンビ舞う青さの続きには
うつろなる目の飢餓に泣く子ら

築地町

八木下みきゑ

【俳句】
秋の蚊の天女のごとき足を下げ

上田町

工藤ミネ子

木の葉髪捨てて明日への姿見る

今町

伊藤 みゑ

つけ桶に秋陽を濃くし逆さ干し

新畑町

近江 三保

縄文の地に歩を合わせ草紅葉

湯ノ又

沢田石和子

二の丸へ登る石段冬の雲

館越

斉藤 諒一

【川柳】
負け犬はひと寝してから起ち上がる

長町

鍋谷 福枝

平和って何だ男が錆びてゆく
躓いて転んで輪抜けうまくなる
世紀末税金だけが高くなる

下山内

大石 一粹

昭辰町

佐々木良可

長町

荒川祥一郎

冬のボーナススーパーキャンペーン

店頭表示金利プラス0.2% キャンペーン期間 平成9年12月1日～12月30日

キャンペーン期間中、ボーナス預金をお預けいただいたお客様に対して、「スーパー定期預金」の店頭表示金利に0.2%を上乗せいたします。

お預け入れ限度額	100万円
お預け入れ期間	1年ものに限ります
ただし、新規預け入れに限ります 自動継続のお取り扱いではありません。	

五城目信用金庫 本店
TEL(0188)52-2115 (代)

グッバイ フィオナ



KOHには、これが、最後の文章です。赤ちゃんを生むため
12月13日に帰ります。それと、大学院へ行って勉強します。赤
ちゃんのたん生は、嬉しいです。けれど、五城目町をはなれるのは、
とても悲しいです。

五城目の人たちは、とても優しくしてくれました。みなさんが、
日本の文化と日本語を教えてくれました。ありがとうございま
した。あなたたちのことは、いつまでもわすれません。

とくに、学校のみなさんとわかれするのは、とても寂しいです。
五城目での仕事は、とても楽しかったです。生徒のみなさんは、
私に、たくさんのおもてなしをしてくれました。一年半の間、あなた
たちと付き会いました。いつまでも覚えていよう。

五城目のみなさん、本当にありがとうございました。
五城目町は小さい町ですが、とてもおだたかくて、すばらしい
所でした。

心から、ありがとうございました。フィオナ。

Thank you
for your smile.

(フィオナさんが書いた文をそのまま載せました)

冬のドライブに安全と安心の3S点検をどうぞ!!

【お客様が自由に選べる点検メニュー】 点検の方には粗品進呈

(有) 佐藤自動車

五城目町一番町 ☎ (0188) 52-2059

(A) 安心安全コース

この点検は、日々安心快適にご使用
いただくための最小限の点検です。

◎点検項目と料金

・点検項目数 12項目
・点検料金 軽自動車 3,500円
小型車 3,500円

(B) セーフティドライブコース

(A+B) この点検は、遠出や山道、
高速走行でも安心。

◎点検項目と料金

・点検項目数 20項目
・点検料金 軽自動車 5,500円
小型車 7,500円

(C) ロングドライブコース

日本の四季それぞれの季節に安心、
安全快適なドライブ。

◎点検項目と料金

・点検項目数 25項目
・点検料金 軽自動車 8,500円
小型車 10,000円

けたで記入くださるよう、お願いします。

郵便局では、お客様からの電話で新郵便番号のお問い合わせにお答えする『新郵便番号案内サービス』を行っています。

電話番号は ☎ 0120-857552

▷月曜日～土曜日(年末年始、祝日を含む)

▷日曜日(平成9年12月、平成10年1月・2月・12月、平成11年1月3日・10日だけ)

演劇ファンに朗報!

秋田演劇鑑賞会入会のお誘い

秋田演劇鑑賞会は、会員制で定期的に演劇鑑賞を楽しむ会です。会員が毎月会費を出し合い、優れた演劇を秋田に呼んで鑑賞します。12月の例会(公演)は13日、14日に県民会館で行われる『ゆの暖簾』です。会費は一般が2,000円。入会申し込みなど詳しくは同会事務局(☎32-2721)へ。

明るく楽しい年末・年始を迎えるために…

年の瀬もせまり、街にもあわただしさが感じられるようになってきました。

年末には思いもかけないような凶悪事件や重大事故が発生することがあります。「自分だけは大丈夫」と油断することなく、明るく楽しい年末・年始を迎えましょう。

○置き引き、ひったくりの被害に遭わないために

・ハンドバック、カバンなどは身体から離さないようしっかり持つようにしましょう。

・現金などの貴重品を他人に見られたままでバックなどにしまい込まないようにしましょう。

・金融機関からの帰りには特に注意し、不安を感じたときは近くの家に避難しましょう。

○自転車などの盗難被害に遭わないために

・自動車から離れるときは、少しの間でもエンジンを止めキーを抜き、必ずドアロックをしましょう。

・オートバイを止めるときは、ハンドルロックをしましょう。

・自転車から離れるときは、必ずカギをかけましょう。

○空き巣の被害に遭わないために

・外出したり長期間留守にしたりすると

きは、必ずカギをかけ、隣近所に声をかけましょう。

・カギは郵便受けとか牛乳箱に入れな

いで、身につけて外出しましょう。

町民が相互に協力し、犯罪のない明るく、住みよい地域社会をつくることを目的とした町防犯協会の主な役員は次のみなさんです。

会長・新谷秋蔵、副会長・松橋健治郎、猿田日出男、総務部長・佐々木勝太郎、同副部長・浅野淳悦、地域活動部長・金子松之助、同副部長・宮城元、広報部長・近江弘、同副部長・小林進

町社会福祉協議会へ

寄せられた善意(敬称略)

- ・11月4日 5万円 斉藤久士 門前(亡父作夫様の香典返しに代えて)
- ・11月7日 7万円 荒川要悦 築地町(亡母ヤス様の香典返しに代えて)
- ・11月10日 3万円 猿田源一 上樋口(上)(亡母トク様の香典返しに代えて)
- ・11月10日 3万円 佐々木照雄 恋地(亡父留蔵様の香典返しに代えて)
- ・11月10日 3万円 渡部栄造 一番町(亡父宗造様の香典返しに代えて)
- ・11月11日 2万円 平川正 長町(亡母ミツエ様の香典返しに代えて)
- ・11月18日 2万円 阿部ユキ 富田(亡夫金一様の香典返しに代えて)
- ・11月25日 3万円 伊藤ミサ 希望ヶ丘(亡夫文雄様の香典返しに代えて)
- ・11月4日 9,400円 (勸千代田区コミュニティ振興公社理事長土子勤(町産業文化祭ゲームコーナーの売上金))
- ・11月5日 5,808円 五城目高校生徒会、JRC同好会一同(五高祭での募金)

森山荘に

寄せられた善意(敬称略)

- ・10月6日 理容奉仕 今町 小杉田啓一
- ・10月7日 納豆50個 県納豆商工業

あっ! とおどろく洗車の大革命!
タオルでの手洗い洗車を越える
魔法の布ソフト洗車機
愛車を傷つけない 魔法の洗車機 南秋初登場
湖東商事
五城目町大川国道7号線沿い ☎75-3550・4317

協同組合 理事長 山田清繁

・10月20日 歌と遊戯

五城目小1年生14人

・10月23日 歌と踊り

つむぎカラオケ歌要教室

・10月23日 サツマイモ トキメキ農園

・10月24日 歌と劇・カーネーション

杉沢小児童18人

・10月26日 歌 五城目民謡愛好会9人

・10月28日 歌と遊戯 内川小児童21人

公共建設工事等入札結果

工事名・契約額・落札業者

▷雀籠運動公園内樹木の冬囲い・解体業務

・4,200,000円・(株)工藤緑化 工藤勝宏

▷町民センター空調設備設置工事

・1,932,000円・エツミ電設 伊藤悦美

▷第二体育室電動カーテン設置工事

・5,483,100円・(株)長谷川実業 長谷川定夫

▷町道細越線配水管布設替工事

・3,517,500円・菅原水道工事店 菅原源一

▷上山内地区農業集落排水事業 DS315301号管路施設工事(通常)

・28,507,500円・(株)赤坂建設 赤坂賢治

▷上山内地区農業集落排水事業 DS315391号管路施設工事(町単)

・21,525,000円・八重樫建設(株) 今野次郎

▷上山内地区農業集落排水事業 DS315203号管路施設工事(繰越)

・38,850,000円・(株)杉本組 杉本馨

▷矢場崎岡本線道路改良工事・11,004,000円・高森建設 小野峰子

▷細越地区老朽管布設替工事

・18,952,500円・越高水道施設 越高四郎

町長の主な予定(12月)

2/全国治水促進砂防大会(東京都)

3/全国町村長大会(東京都)

4/簡易水道整備促進全国大会/全国町村長大会(東京都)

15/町功労者誕生祝い(澤田石廣治様・湯ノ又)

肖像写真

●葬儀用写真
1日仕上げ! ●着替え・バック消し
(カラー・白黒共) ●古い写真の修整

コンピューターによる画像処理

イトウカメラ

伊藤写真館

五城目町ガーデン松竹向かい ☎52-3667

募 集

recruitment.collection

公営住宅の入居者を募集中

〈矢場崎公営住宅（一種）〉・住所 川崎字宮花10-60・戸数 木造平屋建1戸・家賃月額 3万円

〈矢場崎公営住宅（二種）〉・住所 川崎字宮花10-60・戸数 木造平屋建1戸・家賃月額 2万5,000円

〈神明前公営住宅（二種）〉・住所 字神明前95-1・戸数 木造平屋建1戸・家賃月額 1万5,000円

〈広ヶ野公営住宅（二種）〉・住所 高崎字行内沢98-1・戸数 木造平屋建1戸・家賃月額 2万円

▷募集期間 12月15日まで

▷入居予定日 平成10年1月5日

※申し込み・問い合わせ先

役場建設課建設係（☎52-5252）

温水プール事務員（女性）を募集しています

▷募集者数 1人（30歳以下）

▷勤務時間 週40時間の変則

▷勤務期間 平成10年1月6日～同年3月31日

▷賃金 月額5,000円、通勤手当支給

▷勤務条件 社会保険、雇用保険の加入

○問い合わせ 役場総務課（☎52-5312）健康診断書を採用内定時に提出してください

国の教育ローン年金教育資金を利用して見ませんか

厚生年金保険や国民年金に10年以上加入している方は教育資金を低利で借りることができます。また、国民金融公庫の一般教育ローンとあわせてご利用できます。

▷融資金額 1人につき 厚生年金保険加入中の方 100万円以内 国民

年金加入中の方 50万円以内

▷融資利率 年2.70%（8月1日現在）

▷返済期間 8年以内（据置き期間は在学期間内で最長4年）

※申し込み・問い合わせは（財）県年金福祉協会（☎65-7400）

催 し
events

『町青年会OB会』の結成総会が開催されます

「最近どの町でも、青年はいるけれども青年会の組織がなくなってしまった」という声が聞かれます。どうかして青年会が再建できるように手助けしたい、また、OB同志の親睦と融和、地域活性化を目的に、『町青年会OB会』の結成総会が開催されます。

どなたでも参加できます。多数の参加をお待ちしております。

▷日時 平成10年1月11日（日）午後3時より

▷会場 「グリーンロイヤル丸富」

▷懇親会費 1人5,000円（うち1,000円は年会費）

成分献血にご協力を

12月17日（水）、役場前で成分献血が行われます。ご協力をお願いします。

▷9時30分～10時30分、10時30分～11時30分、11時30分～12時30分、13時30分～14時30分、14時30分～16時15分 各回4人の予定です。ご希望の方は福祉保健課（☎52-5128）へご連絡ください。

クリスマスチャリティーダンスパーティーが行われます

▷日時 12月21日（日）午後6時～9時

▷会場 五城館1階大ホール

▷生バンド クリスタルサウンズ

※お楽しみゲーム大会も行われます

▷会費 軽飲食付 前売券2,000円（当日券は、2,500円となります。）

▷主催 ダンスサークル五城目

▷後援 五城目町中央公民館、ダンススクール・カガヤ

◎地域同好会の親睦を深め、あわせて町の活性化を望んでいます。パーティー券はサークル会員へ。

▷問い合わせは村上（☎52-4729）工藤（☎52-4246）へ

おしらせ

announcement

こんにちはドラえもん
秋田朝日放送が受信できます

秋田朝日放送の中継塔から電波が発信されています。薬師山にアンテナを向けている家庭は、UHF51チャンネルに合わせるだけでAABを見ることが出来ます。詳しくは役場企画振興（☎52-5362）へお問い合わせください。

製造事業所の皆様へ
統計調査に御協力ください

12月31日現在で、次の調査が同時に行われます。

○工業統計調査

○石油等消費構造統計調査

年末から年始にかけて調査員がおうかがいます。なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので正確な記入をお願いします。

通商産業省

役場企画振興課（☎52-5352）

平成10年2月2日から郵便番号が7ケタになります

今度の年賀状には、あなたの郵便番号を7

マチのほっとステーション
LAWSON
OPEN 12月12日(金)
あき7:00
ローソン 五城目西磯目店
南秋田郡五城目町西磯ノ目一丁目2-2
年中無休24時間営業

サタ館のお歳暮
全国宅配無料 25%~10%引きで
お持ち帰りの場合 35%~20%引き!!
メーカー希望小売価格より
メーカー希望小売価格より
カタログブティック
サタ館
五城目店 AM8:00~PM8:00
年中無休
南秋田郡五城目町字下夕町40-1
☎0188-52-2228 FAX0188-52-9883

1月 ゴミ収集日程表

◇ 燃えるゴミ ◇

収 集 町 内	収 集 日	曜 日
新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町・今町 御蔵町・小池町・川原町・新 町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町 大川（1区～4区以外の地区）・森山地区・馬川地区	5日・8日・12日 19日・22日・26日 29日	月・木
築地町・畑町・新畑町・東磯ノ目 西磯ノ目・矢場崎・仲町・長町・米沢町 雀館・昭辰町・大川（1区～4区） 馬場目地区・富津内地区・内川地区	6日・9日・13日 16日・20日・23日 27日・30日	火・金

◇ 資源ゴミ ◇

収 集 町 内	空きビン類	空きカン類
馬場目地区・富津内地区・内川地区	第2月曜日 12日	第4月曜日 26日
新里町・広ヶ野・希望ヶ丘 大川（1区～4区以外の地区）・森山地区・馬川地区	第2火曜日 13日	第4火曜日 27日
今町・御蔵町・小池町・川原町・仲町・長町 米沢町・雀館・昭辰町・大川（1区～4区）	第2水曜日 14日	第4水曜日 28日
築地町・畑町・新畑町・東磯ノ目 西磯ノ目・矢場崎	第2木曜日 8日	第4木曜日 22日
田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	第2金曜日 9日	第4金曜日 23日
全 町	7日・14日・21日・28日	毎 週 水 曜 日 ト ポ ト



お願い

次の燃えないゴミは、それぞれにまとめてください。
第2、第4の資源ゴミ収集日に収集します
・ガラス類：コップ、ガラス食器、ガラスの破片など
・金属類：なべ、やかん、アイロン、トースターなど
・他の燃えないゴミ：陶磁器、ポット、乾電池など
・焼却灰：焼却した後の残灰

役場 町民生活課 ☎52-5112

1997

年末年始のお知らせ

1998

今年もみなさんの
ご協力をお願いします
歳末たすけあい募金

五城目町理容組合
美容組合五城目班
正月休み

町民のみなさんからお寄
せいただいた寄附金は、地
域の一人暮らしや寝たきり
のお年寄り、体の不自由な
人など、さまざまな手助け
を必要としている人々のた
めに役立てられます。



募金期間は12月1日から16日までです

年末年始の
役場業務は休みます

役場は12月27日（土）か
ら平成8年1月4日（日）
まで休みます。
なお、休みの日でも職員
や守衛が庁舎内にいつもい
ますので、急用の場合など
はお気軽にご相談ください。

年末のし尿のくみ取りは大変混み合います

年末のし尿のくみ取りは、
大変混み合います。地区別の
申し込み締め切りは次のように
決めました。締め切りを過ぎた
場合は、来年のくみ取りにな
ります。ご協力ください。

※来年のくみ取り開始は1月
5日（月）です。

▽申し込み締め切り
・12月10日（水）馬場目地区、
富津内地区、内川地区、森
山地区
・12月16日（火）五城目地区、
馬川地区、大川地区
五城目衛生舎 ☎52-3867
南秋衛生舎 ☎52-2746

各家庭の排水設備工事

◎各種設備工事のご相談は、当社へ!!
◎この機会に見直しませんか?
トイレ以外の水まわりも!!

有限会社 八柳建水工業

五城目町大川大川字西屋布84番地の1 ☎75-2559



お肌はしっとり、なめらか

★荒れ性・肌あれ・ひび・あかぎれに
のびのよい薬用整肌クリーム

《無臭性》

フタアミンhiクリーム

五城目中央ドラッグ 五城目町朝市通り
☎52-3217

12月町民カレンダー

December
1997

日	月	火	水	木	金	土
	12月1日 赤倉山荘休館(12月5日まで)	2 機能回復訓練(役場保健室・13:30～)	3 三種混合予防接種2回目(湖東総合病院・平成8年12月～同9年3月生まれ・受け付け13:30～14:00)	4 骨粗しょう症講演会(役場正庁・13:00～)	5 ○大川保育園もちつき会(10:00～) ○特設人権相談所開設(五城館・10:00～15:00)	
7 救急救命講習会(広域五城目体育館・13:30～16:30)	8 ○母子手帳交付妊婦相談(役場保健室・9:30～15:00) ○五城目幼稚園もちつき会(10:30～)	9 ○五城目保育園もちつき会(10:30～) ○乳児健康診査(役場保健室・平成9年2月・同年8月生まれ・受け付け12:45～13:15)	10 日本脳炎予防接種1回目(湖東総合病院・平成6年9月～同年11月生まれ・受け付け13:30～14:00)	11 ○森山荘デイサービス(同世代交流・9:00～) ○バランスライフ健康教室(町民センター・13:00～)	12 乳幼児健康相談(役場保健室・平成8年11月・同9年5月生まれ・受け付け10:00～10:30、午前だけ)	13 ○馬場目保育園おゆうぎ会(9:30～) ○杉沢保育園わくわくおゆうぎ会(10:00～) ○富津内保育園おゆうぎ会(9:30～)
14 救急救命講習会(広域五城目体育館・13:30～16:30)	15 ツベルクリン反応検査(千葉内科医院・平成9年4月～同年7月生まれ・受け付け13:30～14:00)	16 大川保育園おにぎり会(10:30～)	17 ○麻しん予防接種(湖東総合病院・平成8年8月～同年11月生まれ・受け付け13:30～14:00) ○ツベルクリン判定BCG接種(千葉内科医院・15日にツ反を受けた方・受け付け13:30～14:00) ○成分献血(役場前・9:30～)	18 ○森山荘デイサービス(同世代交流・9:00～) ○機能回復訓練(役場保健室・13:30～)	19 ○五城目保育園クリスマス会(9:10～) ○馬場目・富津内・杉沢保育園なかよしクリスマス会(馬場目保育園・10:00～)	
21 救急救命講習会(広域五城目体育館・13:30～16:30)	22 ○母子手帳交付妊婦相談(役場保健室・9:30～15:00) ○五城目幼稚園クリスマスお楽しみ会(9:30～) ○大川保育園クリスマス会(10:00～)	23 天皇誕生日	24 三種混合予防接種追加(湖東総合病院・平成7年11月～同8年2月生まれ・受け付け13:30～14:00)	25 小・中学校、幼稚園2学期終業式(1月13日まで冬季休業)	26 官庁仕事納め(1月5日が仕事始めになります)	27 消防本部年末特別警戒(31日まで)
今月の町税 町県民税第4期と国民健康保険税第6期の納期は12月25日(木)です。 お問い合わせは、役場税務課(☎52-5144)へ				元日 1月1日		

テレホン広報ごじょうめのご案内

町では24時間、電話で町の情報、お知らせをお届けする「テレホン広報」を行っています。どうぞご利用ください。



フリーダイヤル

0120-081898

ハイヤクバ

(無料です)

クリスマスケーキご予約承ります。



種類	バクー	クリーム	チョコレート	生クリーム	チョコレート生クリーム
号					
5号 (15cm)	1,700円	2,000円	2,500円	2,500円	
6号 (18cm)	2,200円	2,700円	3,000円	3,000円	
7号 (21cm)	2,800円	3,200円	3,800円	3,800円	
8号 (24cm)	3,500円	4,000円	5,000円	5,000円	
9号 (27cm)	*	*	6,500円	6,500円	
他：チーズケーキ (21cm) 3,200円 二段重ね (7号+5号) 5,500円					

＝6号以上ご予約の場合＝

◎ケーキにさして火をつけるとクリスマスソングを奏でるメロディーキャンドルが付きま。

◎ジャンペンをサービスします。



お菓子の **しばた**

五城目町古川町 ☎52-3238

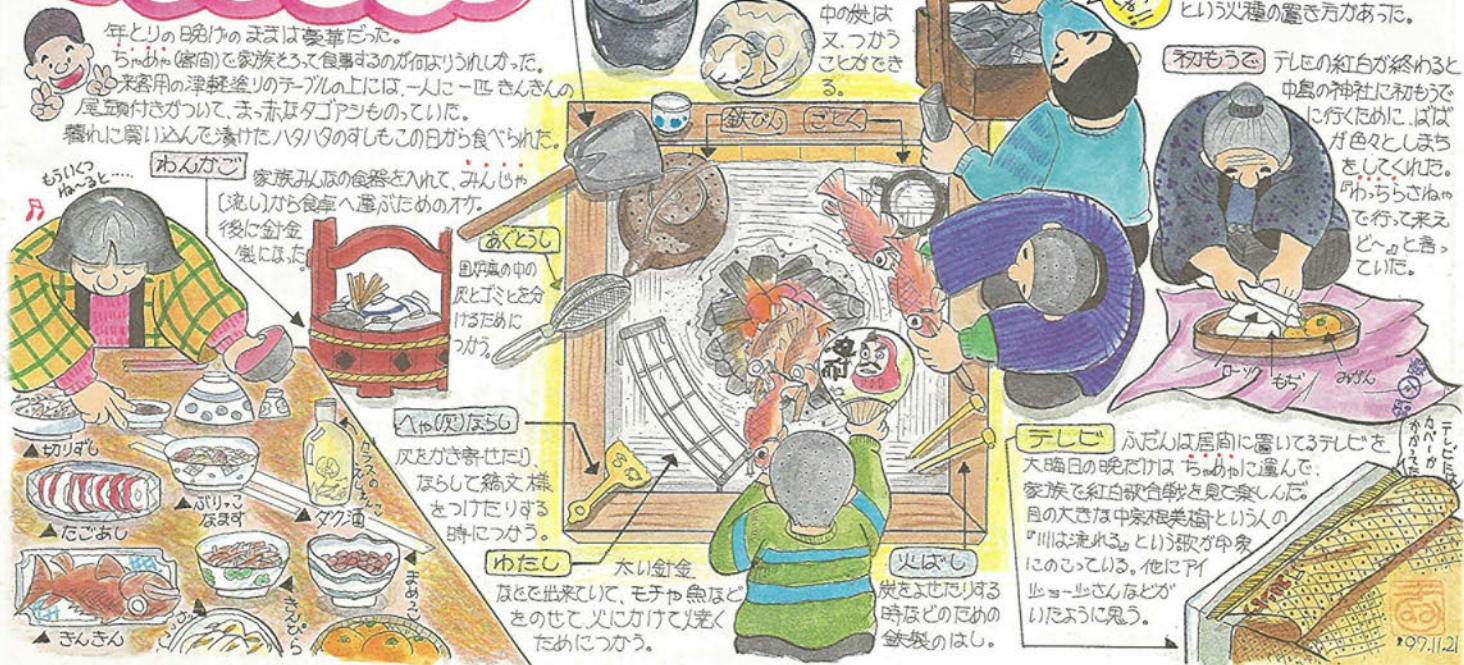
なつかしの

(「わらしだ」とは五城目弁で、「子どもたち」の意味です)

ぐじょうめのわらしだ

作：大石 清美

年とりの晩げ(大晦日)のえり(田舎)のそばあだり



おくやみ申し上げます

(敬称略)

佐々木留蔵	88歳	10月2日	恋 地
三浦 サキ	81歳	10月3日	岩城町
澤田石正市	77歳	10月5日	湯ノ又3区
平川ミツエ	85歳	10月7日	長 町
猿田 トク	84歳	10月8日	上樋口(上)
佐藤 勇吉	78歳	10月11日	田 町
伊藤 文雄	72歳	10月13日	希望ヶ丘
加藤 ナミ	85歳	10月16日	浦横町
小玉 キン	78歳	10月19日	高 千
阿部 金一	77歳	10月25日	富 田
澤田石トキ子	69歳	10月27日	湯ノ又1区
荒川 ヤス	82歳	10月28日	築地町

編集後記

◆今月もたくさんの方に協力していただきました。広報ができています。毎月、毎年があとという間です。今年も残り一か月でも、町の歴史は休むことなく刻み続けられます。

町の人口と世帯

平成9年10月末現在

		前月比	昨年度
人 口	13,427	(+4)	(-207)
(男)	6,334	(±0)	(-110)
(女)	7,093	(+4)	(-97)
世 帯	4,063	(+3)	(+12)

おたんじょう おめでとうございます

はじめまして
松橋 聖です
よろしくね!

お母さんから
「心の広〜い
元気な男の子に
育ってネ!!」



松橋	聖	く ん	10月2日	一彦・鈴加	畑 町
佐々木	ゆき乃	ちゃん	10月2日	雅洋・康子	田 町
工藤	菜南	ちゃん	10月3日	勝宏・美紀	浅見内5区
嶋森	美聡	ちゃん	10月5日	憲雄・順子	下山内
猿田	菜那	ちゃん	10月8日	武 ・みどり	新里町
阿部	相楽	く ん	10月9日	悟 ・直美	富 田
猿田	文洋	く ん	10月10日	秀樹・了子	上樋口(上)
小玉	亜美	ちゃん	10月11日	和則・直美	畑 町
草皆	武文	く ん	10月15日	義行・典子	帝釈寺
田口	智恵	ちゃん	10月22日	修 ・治美	東磯ノ目
山田	堅登	く ん	10月24日	正二・みお子	矢場崎
武藤	夏帆	ちゃん	10月24日	雄紀・多恵子	新里町
藤田	聡	く ん	10月27日	司 ・真理子	大川4区